

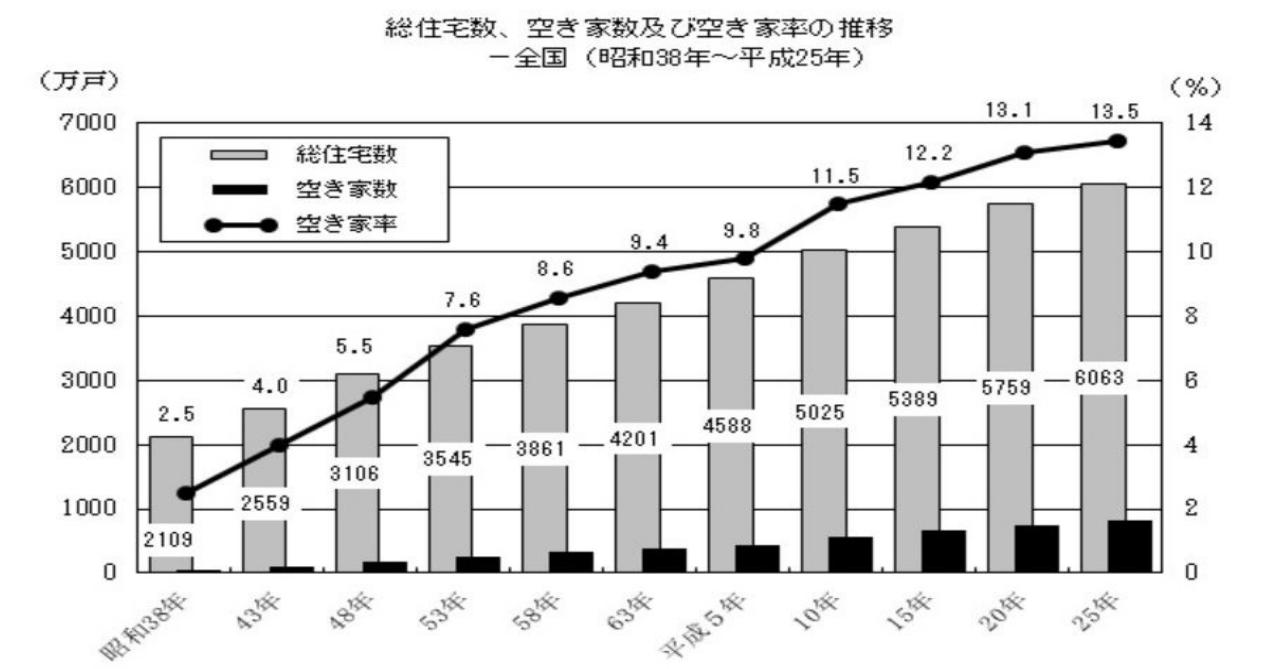
空き家・空き地問題に関する危機管理とまちづくり

代表者：三田妃路佳（コミュニティデザイン学科） 協力者：石井大一郎（コミュニティデザイン学科） 安森亮雄（建築都市デザイン学科） 塩田大成（ビルスタジオ 代表取締役）

研究目的

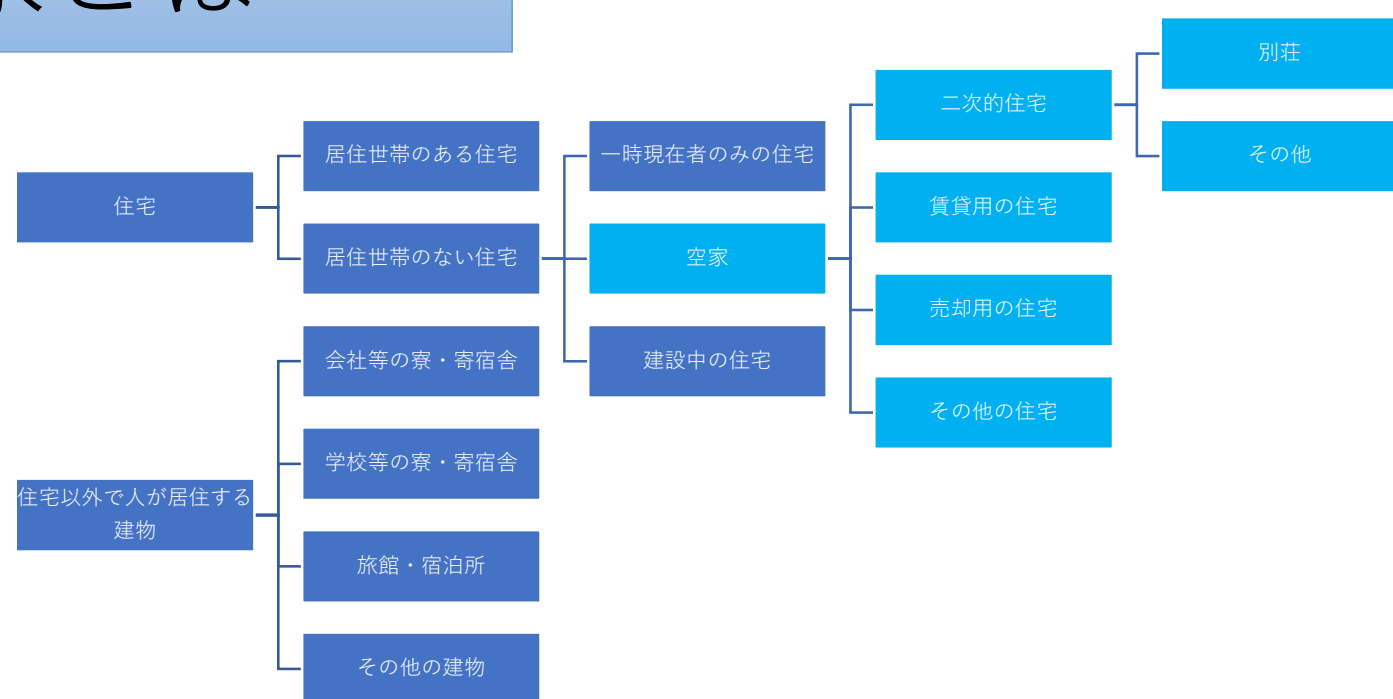
空家・空地は年々増加しており、空家を放置すれば危険を伴う。しかし、空家・空地問題は、行政でも民間でも解決が難しい。どのようにすれば解決できるのか。官民の取組の調査から空き家問題を解決させる方策を見出すことを目的とした。

地方自治・政治学・行政学、コミュニティ政策、建築設計・都市デザインによる多面的視点から空き家対策を進める要素を分析した。



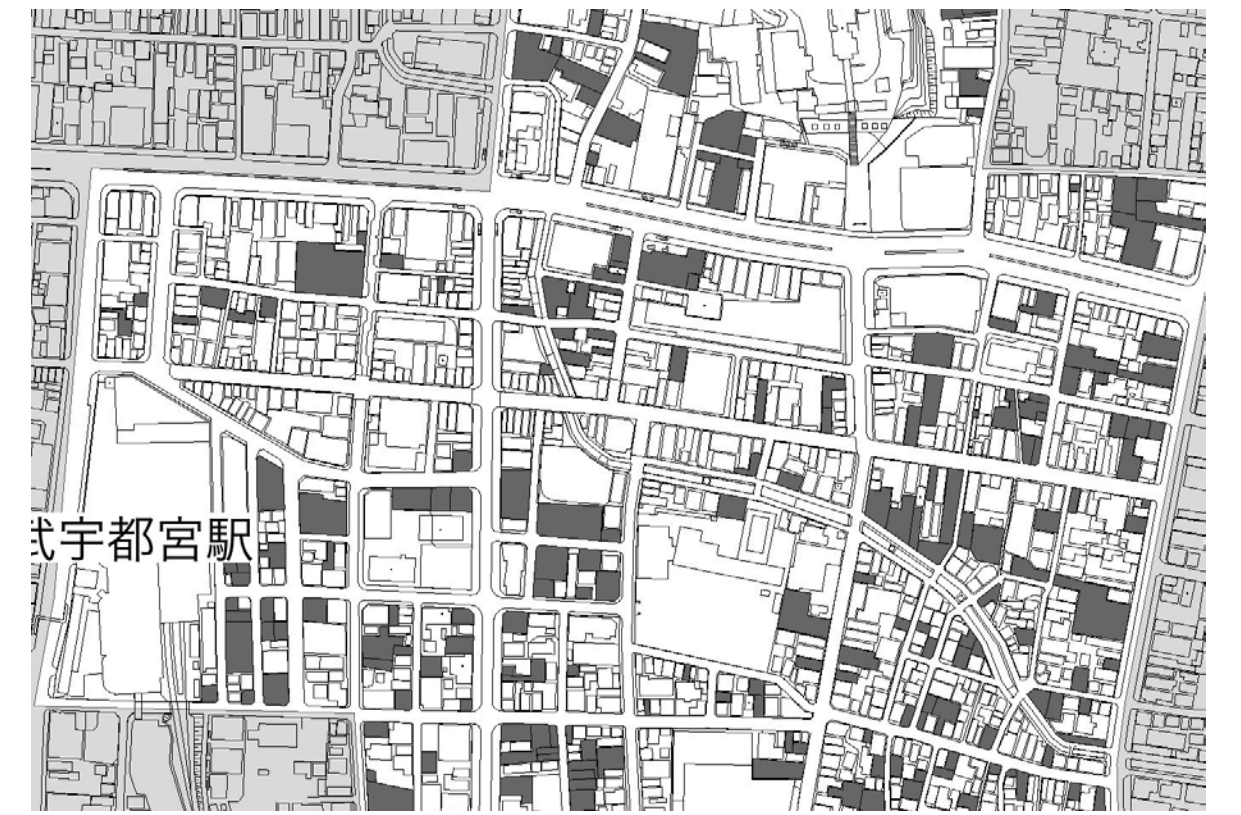
2013年度は住宅の13%が空家

空家とは



空地とは

建物に建蔽されない敷地（駐車場、未利用地等）
宇都宮市中心市街地の空地率 = 17%
→町並みの連続性の分断
建物の隣地面の露出
→空地を資源に、空地デザイン



行政による空き家への取組の調査

国の取組：2014年11月27日「空家等対策の推進に関する特別措置法」特定空き家への固定資産税の特例廃止
自治体による空き家条例制定数：431 うち20自治体が条例名に活用に関わる用語を使用

取組の類型化：危険物として除去、地域活性化を目的とした利活用
担当組織体制の類型化：除去中心：危機管理部局・環境関連部局等が担当
利用中心：建築部局や企画部局と中心とした一元的組織、組織横断的体制へ転換

空家に関する自治体の取組調査：京都市、栃木市、所沢市、前橋市

<京都市>

まち再生・創造推進室設置、不動産業者を「空き家相談員」として登録、地域連携型空き家流通促進事業による市と自治会の協働



<栃木市>

住宅課設置
定住促進のための補助
空き活用によるお試し定住（やどかりの家）



<前橋市>

建設部建築住宅課へ関連部局を統合
中核市で初の空家対策計画
空家ネット：空き家活用流通のための支援体制

二世帯近居補助金：社会福祉部局との連携による空き家活用のための補助金



公開勉強会「空家・空き地を活かしたまちづくり」

行政、市民団体、大家、不動産業者等、約80名来場

「まちづくりはキャスティング」
青木純氏（まめくらし代表、青豆ハウス）
居住者が内装を作る集合住宅、南池袋公園、リノベーションスクール、エリアマネジメント。

「前橋市における空家対策」
持田一浩氏（前橋市建設部建築住宅課）
前橋市の状況、大学との協働による空家調査、縦割り行政を超えた空家対策。



宇都宮大学 地域デザイン科学部附属 地域デザインセンター・平成28年度 地域連携プロジェクト
空家・空き地を活かしたまちづくり 公開勉強会

日時 2017年1月16日(月)午後3時～

会場 宇都宮大学 緑キャンパス UUプラザ
住所 栃木県宇都宮市緑町 350

司会 石井大一郎 (Machizukuri Center 代表)

モデレーター 塩田大成 (ビルスタジオ 代表取締役)

パネリスト 青木純 (まめくらし 代表)、持田一浩 (前橋市建設部建築住宅課)

スケジュール
午後 3:00～3:10 オープニング
3:10～4:00 講演 青木純
4:00～4:30 講演 持田一浩
4:30～5:25 ディスカッション・モデレーターとの意見交換・会場全体の意見交換
5:25～5:30 クロージング

問い合わせ
info@u-cad.jp (Eメール) (住所)
028-252-1111 (TEL) (住所)